



特別養護老人ホームシルバーケア豊寿園の小倉 紹秀さんが令和7年に開催された第10回みえ介護技術コンテストで、昨年に引き続き、当法人として2回目の3位入賞となりました。今後の目標や抱負などをインタビューしました。

入社して3年目を迎えるにあたり、これまで学んできたことを形にしこれからの成長につなげたいと思い今回のみえ介護技術コンテストに挑戦しました。今回の挑戦を通して、日々の支援を振り返る良い機会となりました。自分の強み、課題を改めて実感することができました。

そして何より今回入賞できたのは日頃から支援させていただいているご利用者やご協力いただいた職員の方々、施設長のご指導に加え統括リーダーのおかげだと感じています。この場をお借りして心より感謝申し上げます。今後も今回の学びを糧に一人ひとりに寄り添い、安心できる支援を心掛けてまいります。



特別養護老人ホーム  
シルバーケア豊寿園

小倉 紹秀



① 所属事業所のウリと強み

地域総合ケアセンターという名の通り、デイサービス、デイケア、ケアハウス、介護老人保健施設、老人福祉施設、グループホーム、居宅支援事業所、包括支援センターなど通所から入所まで幅広いサービスを展開しています。さらに保育園も併設し地域の子どもから高齢者まで多世代交流ができる場が整っています。また地域とのつながりを大切に季節折々の地域行事にも積極的に参加しながら多職種が協力して一人ひとりに寄り添ったケアを提供できることが大きな強みです。

② 今後の目標

介護職員として私が大切にしていることは、ご利用者の“その人らしさ”を尊重する事です。そのために、これまで歩んでこられた人生や大切にされてきた価値観を理解し、それらを日々の支援で活かすことを心掛けています。その背景を踏まえた関わりによって安心して笑顔で過ごせる環境が生まれると思います。これからも一人ひとりに寄り添い、その人らしい暮らしを安心して送れるよう支えていくことが目標です。

③ 休日の過ごし方／特技

休日は、家で映画を見てゆっくり過ごす日もあれば、外に出て名古屋や大阪に買い物へ行く日や朝早くから釣りに行くこともあります。釣りは、イカ釣りが好きです。最近は釣れていません。温泉でゆっくり過ごすことも好きです。特技は、野球です。9歳から高校まで続けていました。たまにバッティングセンターに行って体を動かしたりしています。



発行 社会福祉法人 洗心福祉会 広報委員会

〒514-0831 三重県津市本町 26 番 13 号 | 059-222-7700 | <http://www.sensin.or.jp>



洗心福祉会 Instagram

sensin  
洗心福祉会

107

2025.10.1

# 洗心



多様性がもたらす、  
豊かな地域福祉の未来

- p2. 地域とともに未来を創る
- p3. 多様性がもたらす、豊かな地域福祉の未来
- p4. もしもに備え地域を知る
- p5. こどもの成長と地域をつなぐ「保育園留学」の取り組み
- p6. 美杉クリニック 開院10周年 地域医療の未来
- p7. 敬老特集 元気な100歳を紹介
- p8. 今、輝いているあなたにクリック

# 地域とともに未来を創る

皆さま、日頃より社会福祉法人洗心福祉会の活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。私たちはこれまで、「みんなで支え合う社会をつくる」ことを大切に、地域の中で暮らす皆さまの笑顔と安心のために歩んでまいりました。

近年、「地域共生社会」という言葉を耳にする機会も増えましたが、私たちが日々大切にしている思いと、とてもよく重なっています。

地域共生社会とは、年齢や障がいの有無、国籍や家庭環境に関わらず、誰もが安心して暮らせる地域をつくることです。そこでは「支える」「支えられる」という垣根を越えて、互いに助け合い、声を掛け合い、笑顔を分かち合う関係が生まれます。福祉施設は、サービスを提供する場であると同時に、地域の皆さまが出会い、触れ合い、共に学ぶことができる「心のつながりの場」でもあります。その

実現に向け、私たちの施設でも地域の子どもたちや学生、ボランティアの方々との交流を積極的に行っています。世代を超えたふれあいの中で、ご利用者のみなさんは若い力に元気をもらい、子どもたちは優しさや思いやりを学びます。そんな小さな日常の積み重ねが、地域共生社会の芽を育むのだと感じています。また、地域の医療機関や学校、行政、企業との協力も欠かすことはできません。

さらに本年度伊賀地区では、新たな取り組みとしてミャンマーより2名の特定技能実習生を受け入れました。入国してから、介護業務にも少しずつ慣れ、日本語も日々着実に上達し、ご利用者のみなさんとのコミュニケーションも円滑になってきています。言葉や文化の違いに戸惑うこともありますが、彼女たちは常に真剣に学び、笑顔を忘れずに業務に取り組んでいます。その姿は職員にとっても大きな刺激となり、ご利用者からも「一

伊賀・甲賀地区老人介護事業部  
部長 本居 政紀

生懸命で元気をもらえる」と温かい声をいただいております。国境を越えた交流は、私たちに新たな視点と力を与えてくれ、地域共生社会の実現に向けた大きな一歩になっています。

高齢化や人口減少、孤立の不安など、地域にはさまざまな課題がありますが、私たちは「地域の一員として、課題や喜びを共に分かち合う」姿勢を大切にしています。職員一同が力を合わせ、皆さまと知恵を出し合いながら解決に向けて歩むことが、私たちの役割であると考えています。

これからも日々の活動を通して心を磨き、感謝の気持ちを忘れずに進んでまいります。そして、誰もが安心して暮らせる地域、笑顔があふれる地域をつくるため、全力で努めてまいります。どうぞ、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



# 多様性がもたらす、豊かな地域福祉の未来

私たちは、外国人技能実習生の受け入れを積極的に行っています。文化や価値観を超えて、互いに学び合い、新しい福祉の形をともに創り出す。その一步一步が、未来をつなぐ架け橋となると信じています。

今年8月上旬に伊賀市久米町にある高齢者福祉施設、伊賀総合ケアセンターシルバーケア豊壽園に配属の特定技能実習生2名の受け入れをさせていただきました。当法人では、昨年3月より先行して滋賀県甲賀地区においてミャンマーからの技能実習生2名を受け入れており2回目となります。入国当初は初めての土地に少し戸惑いと不安を感じていたかと思います。

日の経過に連れ、日本だけでなく伊賀の文化にも興味を示しつつ、日々の業務に励んでくれています。毎日ノートを片手に必死に頑張る勇姿にはどこかたくましく思え、今では職場に欠かせない人材となっております。

甲賀での取り組みでは、日本文化を楽しむと共に、ミャンマーの文化を日本人スタッフに共有し、新しい価値観や交流の可能性を広げています。伊賀でも同様に、地域と実習生たちの間で文化的な橋渡しができれば、地域全体がより多様性を受け入れる場として発展していくのではないのでしょうか。現在は、その先輩実習生の経験を活かし、伊賀地区において新たに受け入れた実習生2名が安心して介護業務に従事できるよう、また日常生活においても安定した環境で過ごせるよう継続的なサポートを行っています。地域福祉の未来を紡ぐため、共に学び支え合いながら新しい挑戦を迎えることが今後の鍵となるでしょう。実習生たちの努力、地域の温かい支援、そして文化交流の積み重ねが、福祉の現場に新しい希望の灯をともしています。伊賀での次なる物語も、きっと温かいエピソードに満ち溢れることでしょう。



## もしもに備え地域を知る

6月15日、鈴鹿シルバーケア豊壽園で行われた地域交流イベント「スズカフェ」が開催されました。本イベントは、防災意識を高めながら地域の絆を深める目的で、多彩なプログラムが提供され、多世代にわたる参加者の笑顔が見られました。

津波避難ビル見学会では、実際の避難経路を体験することで災害時の行動の重要性を確認する貴重な機会を提供しました。「もしもの時に備えが重要」と、多くの参加者が感想を寄せました。防災ワークショップでは、家庭にある物で役立つ防災グッズを手作りし、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ姿が印象的でした。非常食試食会では、多様な非常食を試食し、「非常食が意外と美味しい」と驚く声が多く聞かれました。

また、豊壽園オリジナルコーヒーと焼き菓子の販売では、香り豊かなコーヒーと手作りの焼き菓子が訪れた人々を笑顔にしました。当法人の障がい者福祉施設による陶芸品販売もあり、参加者の目を引きました。さらに、介護相談会やお仕事相談会も多数の来場者を迎え、福祉に関する疑問や仕事への関心に答える場となりました。来場者には防災に役立つ粗品が配布され、災害対策の重要性が再認識される機会にも。先着 300 名限定のプレゼントは大好評でした。

洗心福祉会は今後も、地域の安心と共生を目指して活動を続けます。スズカフェを通じて生まれた交流の輪は、次回のイベントへとつながり、さらなる地域福祉の発展を後押ししていくことでしょう。



## こどもの成長と地域をつなぐ「保育園留学」の取り組み



保育園留学  
ホームページ  
(株式会社キッチハイク)

系列法人の学校法人洗心學舎 しまの杜こども園では、この度、株式会社キッチハイクが進める「保育園留学」を三重県で初めて実施することとなりました。「保育園留学」は、1～2 週間にわたり、子どもたちが保育園でのびのびと過ごし、親御さんは働きながらさまざまな地域で家族として生活を体験できる、子ども主役の革新的な取り組みです。幼少期に子どもたちが自然と触れ合い、心身ともに健やかに育つ環境を提供するだけでなく、親にとっても多様な生活選択肢を提案するものとなっています。

このプログラムにより、子どもたちは地域と深い絆を結びながら、大自然の中で感性を育む貴重な体験を得ることができます。一方、家族単位での参加を通じて、保護者の方々は仕事と育児のバランスを取りながら、多文化的な交流や地域との関係性を築いていく機会を得ることができるでしょう。そして何より、地域にとっては家族ぐるみの長期的な関係人口の創出や地域経済への貢献が期待されます。

しまの杜こども園では、子どもたちの個性や興味を最大限に引き出す保育環境を整えることに加え、地域全体がこの活動を応援し、参加する姿勢を大切にしています。この取り組みは、保育園が地域との関係性をさらに深めるだけでなく、未来にわたる多様性や持続可能性を重んじた社会づくりにも寄与するでしょう。

わたしたちは、多様なニーズに応える福祉活動を通じて、地域の皆さまと共に発展を目指しています。「保育園留学」を通じて、しまの杜こども園で子どもたち、家族、地域の方々が新たなつながりと絆を育む様子を、これからもお伝えしたいと考えています。



## 美杉クリニック 開院 10 周年 地域医療の未来



津市美杉町下之川にある「美杉クリニック」は、このたび開院 10 周年を迎えます。自然豊かな環境に位置する当クリニックは、これまで地域医療の要として、住民の健康を支えてきました。この節目に際し、皆さまの支えに心より感謝申し上げます。

田島和雄院長は、がんや疫学研究の世界的権威でありながら、気さくで親しみやすいお人柄が魅力。詩吟やジョギング、古民家の改修、自作のピザ窯など、多趣味でユーモアあふれる活動で多くの人々を惹きつけています。「グローバルな健康づくりはローカルから」を信条とする田島先生は、医療の枠を超えて、健康増進や地域コミュニティ活性化にも尽力。患者様との対話を大切に、気持ち軽くなるような温かさで接してまいります。

田島先生の長いキャリアには、愛知県がんセンター研究所長やジョン・ホプキンス大学での研究経験など、数多くの実績が刻まれています。しかし、地域医療への情熱は若い頃から変わらず、広島で過ごした幼少期や離島での調査活動を通じて育まれたもの。「病気を治すだけでなく、健康を守り予防する」ための活動に取り組み、その姿勢は美杉クリニックにも反映されています。

これからも、美杉クリニックは田島院長のもと、地域と共に歩み続けます。10 周年の感謝を胸に、さらなる未来を築いていきますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。皆さまの健康を全力で支えます。



## 祝 敬老 インタビュー

今年も多くのご利用者が長寿を迎えられました。心よりお祝い申し上げます。  
長寿を迎えられたご利用者にインタビューさせていただきました。



いなおか あえこ 様  
(104 歳)

介護老人福祉施設  
伊賀シルバーケア豊寿園  
(ご利用年数 5 年 4 ヶ月)

- Q. 思い出を教えてください。楽しかったこと、印象に残っていること。
- A. 昔から旅行をするのがとても好きでね。日本全国いろいろなところに行きましたわ。中でも一番の思い出は、北海道の熊牧場に行ったことかな。よーさんの熊がおってな。近くで餌あげたりできるんやわ。今思うとちょっと怖いけど、動物と触れ合える時間はとても有意義だと思いますね。

- Q. 長寿の秘訣を教えてください。
- A. 特にこれというのではないけども、若いころから身体を動かすことは好きでした。いつからかは忘れたけど、約 30 年間ほぼ毎日、朝早く起きてからウォーキングをしていましたよ。何事も継続することが大切だと思います。

- Q. 今、楽しみにしている事を教えてください。
- A. 今の一番の楽しみは、熱いコーヒーと甘いお菓子を食べることです。毎日のおやつ時間が楽しみで仕方ないですね。毎日おいしいコーヒーを作ってくれる職員さんに感謝ですわ。



さかい はる 様  
(102 歳)

白塚通所介護センター  
シルバーケア豊寿園  
(ご利用年数 2 2 年)

- Q. 思い出を教えてください。楽しかったこと、印象に残っていること。
- A. 80 歳で白塚デイサービスデビュー、開所当初は 7 名でした。デイサービスで流しそうめんをしたことがとても印象に残っているし、楽しかった。こんなに長く豊寿園に通わせてもらってとても幸せです。

- Q. 長寿の秘訣を教えてください。
- A. なんでも食べる。特に刺身が好き。白塚の人は昔から魚をよく食べるので骨が丈夫。よく働くこと。わたしは 60 歳までバスで食堂に働きに行っていました。

- Q. 今、楽しみにしている事を教えてください。
- A. 今は娘や孫と一緒に住んでいて幸せ。誕生日にはみんながケーキで祝ってくれることがとてもうれしい。



きむら とわ 様  
(102 歳)

ふたみ介護老人保健施設  
シルバーケア豊寿園  
(ご利用年数 2 年 2 ヶ月)

- Q. 思い出を教えてください。楽しかったこと、印象に残っていること。
- A. 「旅行に出かけたこと」「友達とお喋り」「おいしいものを食べたこと」など、耳が少し聞こえにくい木村とわ様からお話を伺い、その幸せな時間が今も心にたたかか残っていることが伝わってきました。

- Q. 長寿の秘訣を教えてください。
- A. 「毎日たくさん食べる」「いつも笑顔で前向きにすること」と教えてくれました。施設では、元気いっばいに過ごす姿から、その秘訣が自然と伝わってきます。

- Q. 今、楽しみにしている事を教えてください。
- A. 「ご家族との面会」「おしゃべりな着なし」「施設職員とおしゃべり」でお話する表情はとてもにこやかで、日々の小さな楽しみを大切にされている様子が伝わってきました。

